

ダリアは湿式状態で保管することで花が大きくなる

福島県農業総合センター 作物園芸部 花き科

1 部門名

花き—その他の球根—流通

2 担当者名

鈴木宏和

3 要旨

ダリア「黒蝶」の輸出を想定し、花卉着色未展開時に収穫した場合、切り花の切り口にエコゼリー(鮮度保持剤や抗菌剤を含んだゼリー状の保水剤)を用いて湿式状態で保管することで、開花時の花は、乾式状態で保管するより大きくなり、外観形質が良好となった。また、鑑賞適期からの日持ち期間は、保管中のエコゼリーの有無および包装資材による差は見られなかった。

- (1) 輸出を想定して、花卉が着色し未展開時に収穫した切り花を、5日間8°Cで冷蔵庫に保管し、その後、日持ち試験室(温度20°C、湿度60%、12時間日長)で日持ち性の調査を行った。
- (2) 保管中にエコゼリーで吸水処理を行うことで、フレッシュライナー(湿度改善包装資材)区、P-プラス(MA包装資材)区、新聞紙区は鑑賞適期の花が大きくなった(表1、図1)。
- (3) 保管中の包装資材の違いにより、鑑賞適期からの日持ち期間に差は見られなかった(表2)。

表1 鑑賞適期時の花の大きさ

エコゼリー	包装資材	花の直径(cm)
あり	フレッシュライナー	15.3 a
〃	P-プラス	17.1 a
〃	新聞紙	15.3 a
なし	フレッシュライナー	11.4 b
〃	P-プラス	12.7 b

※分散分析により5%水準で異符号間に有意差あり

表2 鑑賞適期からの日持ち期間(日)

エコゼリー	包装資材	日持ち期間(日)
あり	フレッシュライナー	11.8
〃	P-プラス	11.4
〃	新聞紙	11.1
なし	フレッシュライナー	8.3
〃	P-プラス	9.4

※分散分析により5%水準で有意差なし

※鑑賞適期は、外側花卉5列が90°に展開した状態から、花卉の50%以上が萎凋・褐変、または花首が折れるまで。



図1 花の大きさ(調査7日目) (左:エコゼリーなし 右:エコゼリーあり P-プラス区)

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成27年度～令和2年度
- (2) 研究課題名 ふくしまの地域特性を活かした施設花きの安定生産技術の確立

5 主な参考文献・資料

なし